誌上行学講習会

高佐日煌上人

「十界の社会観も互具して是を見れば、百界の社会観になり得るが、実際問題として其所まで分解する必要はないようである。然し十界の心理は是非百界にしなければ、自身の平常心を具体的に知ることは出来ない。また十界の社会観と十界の心理とは必ずしも一致していない。その理由は心理その儘社会を成立させる条件になっているからである。」

つぶさに人間の心を観察いたしますと、心象の学、組織の学と二つに分かれます。即ち心のおもてに現はれて来る心の現象、心組の学とはそういう現象をあらわれて来る心の組織、心の組立てですね。これを知ってないと自分の心のタズナはひけません。自分の心でいすかから毎日常につかっています。毎日使って実体が解らないということでは困ります。かりに自動車に乗って運転しているとしますと自動車の構造を知らなければならない。自動車の構造を知らないと途中で故障したときに治せない。自動車の構造を知ってなの馬心心猿も全く同じ心でありますの猿と言われて心は昔から意馬心猿と言われますから上手にタズナをひいてきしめていかなければと追い大変なことになります。

皆さんがこれから学びます第二教程の「整識観」によって心の細部に渡った構造が知らされますが、これは超心理学（正確な心を研究考察する学問）と呼ばれ、人間の意識を起えた心理がどこから来ているかを学ぶものであります。そしてこれを学びますことが「死なない生命」を見つける道となるのであります。名づけてこれを「百界心理」と申すのであります。では表を見ながら考へて行くことにいたしましょう。

まず人間心理からお話しを進めて行きます。この人間心の中の地獄心。これは嫉妬心（しっとしん）のことです。嫉妬心というのは理由のない嫉妬心を問うてもいても説明が出来ないいきどうりで、その理由を問うてもいても立っても机にとかいくうしゃくにさわっていてもいられない。机をとかいくうしゃくにさわっていてもいられない。同じで並べうしゃくに例えば同じ月給社員になると僚が次第に出世して行く。同じ機に入って行くと同じ僚が次第に出世して行く。同じ機に入って行くと同じ僚が次第に出世して行く。同じ機に入って行くと同じ